学校番号	3005

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現」（大修館書店）						
副教材等	国語表現基礎練習ノート（大修館書店） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）、カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文章記述や発表を中心に授業を展開するため、積極的に取り組みましょう。
プリントは指示通りノートに貼るか、もしくはファイリングしてください。返却された課題等についても添削された所を確認して次回に活かしましょう。
提出物は期限厳守です。科目の性格上、課題提出による評価の割合が高いため注意しましょう。
『国語表現基礎練習ノート』は、指示に従い予習をして授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

・「知識及び技能」国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、自分の思いを文章にまとめたり、自分の考えを話したりできるよう伝える力を高める。
・「思考力・判断力・表現力等」実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につけ、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。
・「学びに向かう力・人間性等」言語活動をとおして実践的に学習することで、進んで表現する姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	文章を的確に読み取ったり、目的、意図に応じて適切な表現で文章を書いたり、相手の話をきちんと理解して話し合ったりすることによって、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	言葉と出会う ［教材］ 言葉と表記 整った文、わかりやすい文を書く 待遇表現 文のつなぎ方	a：語句の意味や用法を的確に理解している。 b[書]：相手に伝わる文章の書き方と、原稿用紙の使い方を理解している。 c：場面に応じた表現に関心が持てる。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容
	小論文・レポート入門 ［教材］ 小論文とは何か 反論を想定して書く	a：語句の意味や用法を的確に理解している。 b[書]：資料や文章の要旨を的確に理解し、筋道を立てて自分の考えを書くことができる。 c：作文・小論文・レポート等様々な文章の書き方を理解している。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容
	自己PRと面接 ［教材］ 自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 志望理由を書く 自己推薦書を書く 履歴書の書き方 面接にチャレンジ	a：就きたい職業や進路について必要なことを調べ、情報を収集できる。 b[書]：効果的な自己PRや志望動機を書くことができる。 b[話／聞]：相手に伝わるようにスピーチができる。 c：紛らわしい漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容
後期	会話、議論、発表 ［教材］ 相手や場面に応じた会話 スピーチをする	a：聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見がある。 b[話／聞]：適切な言葉遣いで話すことができる。 c：場面にふさわしい言葉遣いを考えようとしている。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容
	小論文・レポート ［教材］ 文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 発想を広げて書く	a：語句の意味や用法を的確に理解している。 b[書]：資料や文章の要旨を的確に理解し、筋道を立てて自分の考えを書くことができる。 c：作文・小論文・レポート等様々な文章の書き方を理解している。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容
	会話、議論、発表 ［教材］ 建設的な議論の進め方 ディベート・ディスカッションを楽しむ プレゼンテーションの工夫	a：語句の意味や用法を的確に理解している。 b[話／聞]：建設的な議論や説明になるよう論拠を立て、協力しながら話し合い、発表する。 c：話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容

	表現を楽しむ ［教材］ 言葉で遊ぶ エッセイを書こう	a:語句の意味や用法を的確に理解している。 b[書]:読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら、自分でエッセイを書くことができている。 c:さまざまな言葉遊びを知り、面白さを味わうことをとおして、言語文化に対する理解を深めている。	定期考査	定期考査	準拠ノート プリント 発表内容

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　　）時間